

園生活及び園経営に関する保護者アンケート集約

附属幼稚園の保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたアンケート結果の集約を終えましたので報告いたします。色つきの項目につきましては、取組の重点といたしまして下欄に考察を載せています。それ以外の項目につきましても、引き続き取組を重ねて参りますので、今後も温かなご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

	項 目	4 そう思う	3 まあそう思う	2 あまり思わない	1 思わない
1	子どもは、喜んで登園している。	81.9	18.1		
2	子どもは、進んであいさつや返事をしている。	32.4	54.3	12.4	1
3	子どもは、好きなあそびやしたいことにじっくりと取り組んでいる。	79	21		
4	子どもは、あそびの中で、友だちに自分の思いを伝えたり、折り合いをつけたりしながら関わっている。	47.6	48.6	2.9	1
5	子どもは、家庭で一日のできごとをよく話している。	50.5	41	7.6	1
6	子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣など、基本的な生活のリズムが整っている。	65.7	29.5	4.8	
7	子どもは、読み聞かせしてもらうことを楽しみにし、よく本を見ている。	69.5	24.8	5.7	
8	園は、教育目標にある「主体的に生きる子ども」の実現に向けて努力している。	84.8	15.2		
9	園は、「子ども理解」に努め、一人一人の育ちを大切に保育している。	83.8	16.2		
10	園は、避難訓練や環境整備、マニュアル作成などによって「命を守る」対策ができています。	91.4	8.6		
11	園は、子育てトークや個人面談などを通して、子育ての相談ができる体制を整えている。	86.7	12.4	1	
12	園は、園内の遊具・施設などの教育環境を、整備している。	79	21		
13	園は、園便りや園長だより、さくらメール・ホームページなどを通して、必要な情報提供をしている。	85.7	14.3		
14	園は、保護者の参画を教育活動に活かしている。	77.1	22.9		

<令和5年度後期アンケート結果の考察>

14あるアンケート項目の内、回答者全員から肯定的回答を得られた項目として、1、3、8、9、10、12、13、14が挙げられた(赤色)。特に1の「子どもの登園意欲」に関する項目において、全員が肯定的に捉えたことを令和5年度の本園に対する最大の評価としてありがたく受け止め、今後もなお一層の努力をしていきたい。また、高い肯定的意見が目立つ項目として11の項目を挙げている(青色)。保護者の子育てへの不安に寄り添い、園と共に幼児期の保育の重要性を捉えて、共に協働できるような関係性を継続し、肯定感を持続できるようにしたい。

なお、肯定できない意見が1割程度ある項目を課題として、2、5の2項目を挙げた(黄色)。この2項目は、なかなか肯定率が上がらないが、今後も家庭との連携を図りながら工夫した取組の構築を目指したい。

相対的に観ると、前期より肯定率が微増しているのは、評価できる。これからも、日々の保育や一つ一つの行事を園児や保護者と創造し、地域のモデル園としての公的役割を果たせるように引き続き努めたい。